

2023年5月9日

各位

共和メディカル株式会社  
代表取締役 杉浦万正

**共和メディカルベンチャーズ（CVC）の設立について**  
**～アジアのヘルスケアスタートアップへの投資で「健康ルネッサンス」を実現～**

この度、共和メディカル株式会社（以下、当社）は、コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）\*1となる『共和メディカルベンチャーズ』を立ち上げ、急成長を遂げるアジア諸国のヘルスケアスタートアップへの投資を開始したことを発表します。この新たな取り組みは、当社理念である「健康ルネッサンス」を実現し、日本およびアジア諸国のヘルスケア知見を活用して地域医療の未来に貢献することを目指しています。

当社は、高齢社会における多様化する社会ニーズに対応するため、国内外の製薬企業、医療機関、大学、自治体等との連携により、新たなビジネスモデルの創造に取り組みます。その一環として、『共和メディカルベンチャーズ』は、当社グループが取り扱う製薬企業や医療機関とのネットワークに加え、国際事業部が展開するアジア諸国もカバーした幅広い視野を持って、ヘルスケア領域における新しい取り組みやイノベーションの源泉を発掘していくことを目指しています。

共和メディカルベンチャーズは、当社グループにしかできない画期的なサービスを構築するための重要施策の1つです。アジア諸国のヘルスケアスタートアップに投資することで、地域医療の未来に貢献し、当社の理念である『健康ルネッサンス』を実現していくことを期待しています。

備考：

1) コーポレートベンチャーキャピタル（CVC）とは、企業が直接投資する又は出資する投資ファンドのことで、主にスタートアップ企業やベンチャー企業への投資を行います。CVCは従来のベンチャーキャピタル（VC）とは異なり、出資企業の資源やネットワークを活用して、投資先企業の成長をサポートすることが特徴です。主な目的と意義は以下の通りです。

■技術革新や市場変化への対応:

中小企業は、大企業に比べリソースが限られているため、スタートアップやベンチャー企業が持つ新技術や革新的なビジネスモデルを発掘することで、市場の変化に迅速に対応し、競争力を維持・向上させることができます。

■リスク分散:

CVC を通じて投資することで、中小企業は自社の事業リスクを分散させることができます。多様な業界や技術分野への投資を行うことで、市場変動や技術革新の影響を緩和し、経営のリスク分散を図ることができます。

■事業領域の拡大:

投資先企業との協業や提携を通じて、新たな事業チャンスを開拓します。これにより、中小企業は自社の事業領域を拡大し、収益源を多様化することを目指します。

■知識やネットワークの共有:

中小企業は大企業に比べてネットワークが限定的な場合がありますが、CVC を通じて投資先企業との連携を図ることで、相互に知識や経験を共有し、ネットワークを拡大することができます。これは、ビジネスの拡大や新たな取引先の開拓につながります。

■収益性の向上:

投資先企業が成功すれば、中小企業はその成長を通じて利益を得ることができます。

本件のお問い合わせ先:

[会社名] 共和メディカル株式会社 統括本部

[担当者名] 取締役／統括本部長 西村翼

[E メールアドレス] [nishimura-a@kyowa-gr.jp](mailto:nishimura-a@kyowa-gr.jp)

以上